

第23回

全国俳句大会 in 北九州

～久女を育み、多佳子を生んだ俳句の地～

目 次

■ 大会概要	P 1
■ 選者紹介	P 2
■ 入賞作品（事前投句）	P 3
■ 入賞作品（当日投句）	P13
■ 吟 行	P18
■ 当日投句受付・見学会	P19
■ 俳句大会・講演	P20
■ 表彰式	P21

実行委員会委員

名誉会長	武内 和久	北九州市長
会長	近藤 晃	（公財）北九州観光コンベンション協会専務理事
副会長	福本 弘明	北九州俳句協会会長
副会長	池永 紳也	北九州市産業経済局長
委員長	岸原 清行	福岡県俳句協会顧問
委員長	浜 和枝	北九州市婦人会連絡協議会会長
委員長	沼田 文子	北九州市女性団体連絡会議会長
委員長	今川 英子	北九州市立文学館館長
監事	久末 隆彦	久女・多佳子の会会長

主 催

北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会、
全国俳句大会in北九州実行委員会

後 援

(公社)日本伝統俳句協会、(公社)俳人協会、(一社)現代俳句協会、角川「俳句」、(株)文學の森、国際俳句交流協会、俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会、北九州俳句協会、北九州市教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、日本経済新聞北九州支局、時事通信社北九州支局、(一社)共同通信社福岡支社、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、テレQ (順不同)

大会概要

日 時 令和6年3月2日(土)～3日(日)

会 場 北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区浅野 3-9-30)他

開催プログラム

3月2日(土)

10:00～15:00 吟行ツアー「大正浪漫と潮風の薫る門司港レトロ ～めかり公園散策」

15:00～17:00 当日投句受付

3月3日(日)

8:30～10:00 当日投句受付

9:00 大会受付開始

9:30～12:00 自由見学会(周遊バス運行) ※バス乗車及び施設観覧は無料



平和のまちミュージアム



松本清張記念館



文学館

12:00 イベントホール開場

13:00 開会(主催者あいさつ他)

13:10～14:10 講演会

(講師) 相田 一人 氏(相田みつを美術館館長)

(演題) 「言葉・コトバ・ことばはチカラ
～父・相田みつをの書と言葉」



相田 一人 氏

変わらないものだけを見つめ、毎日を新鮮に生き、裸の自分を語り続けてきた父・相田みつを、心の歳時記ともいえる作品集「にんげんだもの」を通して、父の思いや生き方、作品の背景などについて語ります。

休 憩

14:25～15:45 「事前投句の部」表彰式、選評

「当日投句の部」表彰式、選評

15:45～16:00 抽選会

閉会

選者紹介

※50音順・敬称略



いまい しょうこ
今井 肖子

昭和29年 神奈川県生まれ
昭和53年 津田塾大学学芸学部数学科卒業
平成12年 母・千鶴子の手ほどきで俳句を始める
平成13年 稲畑汀子に師事、「ホトトギス」、社団法人日本伝統俳句協会に入会
平成15年 第14回日本伝統俳句協会新人賞受賞
平成17年 第16回日本伝統俳句協会賞受賞
平成20年 「ホトトギス」同人
句 集 「花もまた」
そ の 他 愛媛新聞女性俳壇選者



お がわ はる こ
小川 晴子

昭和21年 千葉市生まれ
立教女学院高校を経て、聖心女子学院英語専攻科卒業
昭和41年 英国聖心に留学
祖母・中村汀女、母・小川濤美子に師事
平成17年 第一句集「花信」
「風花」副主宰
平成24年 第二句集「摂津」
世田谷区俳句連盟会長
平成29年 「今日の花」主宰
令和元年 第三句集「今日の花」
令和5年 第四句集「椿明り」
句 集 「花信」「摂津」「今日の花」「椿明り」
そ の 他 公益社団法人俳人協会評議員
公益社団法人日本文藝家協会会員
「三越カルチャーサロン」講師
「朝日カルチャー」講師



てらい たに こ
寺井 谷子

昭和19年 福岡県小倉市(現北九州市)に生まれ、10歳より俳句を始める
昭和41年 明治大学文学部演劇学専攻卒業。「自鳴鐘」編集に携わる
平成4年 第39回現代俳句協会賞、北九州市民文化賞を受賞
平成14年 「NHK俳壇」選者
平成19年 「自鳴鐘」主宰
平成28年 第7回桂信子賞を受賞
平成29年 第16回山本健吉賞を受賞
句 集 「笑窪」「以爲」「街・物語」「未来」「人寰」「母の家」「夏至の雨」
エッセイ・評論 「四季を見る」「紙の碑」
「俳句の海へ 言葉の海へ」
そ の 他 一般社団法人現代俳句協会副会長
公益社団法人日本文藝家協会会員



にしむら かず こ
西村 和子

昭和23年 神奈川県生まれ
昭和41年 慶応義塾大学文学部入学後、慶大俳句に所属し、清崎敏郎に師事
昭和59年 第7回俳人協会新人賞受賞
平成8年 行方克巳と「知音」創刊
平成19年 句集「心音」により第46回俳人協会賞受賞
句 集 「夏帽子」「窓」「かりそめならず」自註「西村和子集」「心音」「鎮魂」「季題別 西村和子句集」「椅子ひとつ」「自句自解ベスト100」「わが桜」
著 書 「虚子の京都」第19回俳人協会評論賞受賞
「添削で俳句入門」「季語で読む源氏物語」「俳句のすすめ―若き母たちへ―」「季語で読む枕草子」「気がつけば俳句」「季語で読む徒然草」「清崎敏郎の百句」「自由切符」
そ の 他 公益社団法人俳人協会副会長
公益社団法人日本文藝家協会会員

入賞作品 (事前投句)

■ 全国俳句大会 in 北九州大賞

初茜松黒々と立ち上がる

(福岡県 みやこ町)

柳田 柑奈

西村 和子 先生 特選

◆ 受賞者の声

初日の出を見たくて、海岸で待つていた時に出来た句です。松が姿を現わしてくる雄々しさが命を感じさせてくれました。俳句が出来ると嬉しく、出来ないと沈む俳句初心者です。賞をいただけ、二度見確認する程、嬉しく、感謝しております。今後は、自然に親しみ、丁寧な生活をしながら俳句に投影できたらと思っています。

■ 北九州市長賞

病棟に届く運動会の音

(福岡県 福岡市)

江守 宏二

今井 肖子 先生 特選

◆ 受賞者の声

この度、北九州市長賞を受賞させて頂き嬉しいと同時に非常に緊張しております。受賞句は、運動会という季語を何か少し違う観点から詠めないかと考え、自分の入院経験を基に詠んだものです。俳句を始めてまだ日が浅く季語と格闘する毎日ですが、多詠多捨という言葉の通り多くの句を作り精進していきたいと考えております。

特別賞

今どきに黒田杏子の遍路杖

(長崎県 佐世保市)

牛飼 瑞栄

小川 晴子 先生 特選

◆受賞者の声

この度は特別賞の通知をいただき選者の先生方には心より御礼申し上げます。黒田杏子先生には一昨年、昨年と特選を頂き、昨年はお会い出来るのを楽しみに大会に参加しましたが体調不良で欠席され、その後、三月十三日に永眠されました。もうすぐ桜の季節、先生は彼の世でもきっと花の巡礼を続けられていることでしょう。



今井 肖子 選

特 選（五句）

病棟に届く運動会の音

（福岡県 福岡市）

江守 宏二

【選評】

下五を、「音」と言い止めることで余韻が、病室ではなく「病棟」とすることで客観性と空間の広がりが生まれています。ときには騒音ととらえられることもある学校の音、特に運動会は歓声や音楽でかなり賑やかですが、「届く」という表現にそれを好ましく受け止めている作者の優しい視線を感じます。

一坪を灯し年末宝くじ

（富山県 入善町）

四十物文代

【選評】

省略が効いた一句。赤地に白抜きで、「宝くじ」と書かれた看板を掲げぼつんと設えていることも多い宝くじ売り場の誘うような灯りが見えます。

麗かや空へ羽ばたく象の耳

（東京都 目黒区）

佐藤 二葉

【選評】

ゆつくりと歩く象、そしてゆつくり動く象の耳。その動きを、「空へはばたく」と感じた作者は、うすみずいろの春の空にぼつかりと浮かぶ白い雲を見上げてふと乗ってみたいと思っただのかもしれない。

シリウスや戦火の中の赤ん坊

（福岡県 岡垣町）

岸原 邦代

【選評】

中七下五を読むと胸が痛くなりますがこれが現実、今年も変わらず戦いが止むことのない地球です。太陽を除くと地球から最も明るく見える恒星だというシリウス、冬の空に青白く強く輝くシリウスを見上げ読み手も作者と共に平和を願い、祈りを捧げる心持になるでしょう。

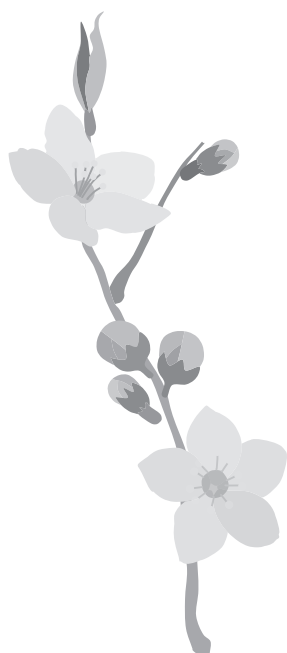
芒原遠くの風がよく見えて

（神奈川県 茅ヶ崎市）

坂口 和代

【選評】

芒と風の句は珍しくないかもしれませんが、「遠くの風がよく見えて」という表現は、風が吹き渡る広々とした芒原に身を置いた時そういえば確かに、と思わせませす。過不足なく素直な仕立ての句です。



入 選（十五句）

戦無き日本列島月を観る

（徳島県 石井町）

石川 富子

どの木にも鳥の恋あり多佳子の忌

（埼玉県 さいたま市）

増田 信雄

つり革をつかむあまたの指秋思

（愛知県 北名古屋市）

梅田 昌孝

人に尾のかすかに残り天高し

（東京都 練馬区）

太田 史彩

ほころびの始まる一糸開戦日

（大分県 大分市）

岩波 千代美

指先の白く透くまで芹洗ふ

（神奈川県 横浜市）

月野木 若菜

秋の日のお喋りいつか来る別れ

（福岡県 福岡市）

有田 真理子

新米を担ぎ嬉しき重さかな

（兵庫県 神戸市）

小柴 智子

小姑の話を焼べる磯焚火

（京都府 京都市）

北村 峰月

遊女たちの骨壺素焼一葉忌

（千葉県 南房総市）

田沼 美智子

泣くように歌い出す母赤とんぼ

（東京都 大田区）

青木 栄子

いくたびも掌にあたたためて雛流す

（神奈川県 横浜市）

多田 学友

木の実降る父の匂ひの散歩道

（福岡県 桂川町）

野上 マチ子

冬構砦なしたる化粧品

（和歌山県 岩出市）

澤田 慎一郎

書き出しはいつも遺書めく初日記

（福岡県 西郷村）

黒澤 正行

小川 晴子 選

特 選（五句）

今どこに黒田杏子の遍路杖

（長崎県 佐世保市）

牛飼 瑞栄

【選評】

「花満ちてゆく鈴の音の湧くやうに 杏子」

「やうやくにをんな遍路をこころざす 杏子」

日本全国の「桜花巡礼」と西国、坂東、秩父、四国遍路の多くの俳句があります。大会で杏子先生に会えないのは大変に寂しいです。どうぞ、私共を見守って下さい。

火と生きて水と暮れゆく阿蘇九月

（大阪府 高槻市）

山路 幸和

【選評】

阿蘇九月はまだ暑かったと思います。

活動が続いている火口を囲む外輪山の火口原には田畑が開け、国道、鉄道があり、人々の暮らしが営まれてます。肥沃な土地と湧水に守られた日々感謝されている思いが伝わってきます。

官兵衛の駆けし街道燕来る

（大分県 宇佐市）

今村 七栄

【選評】

黒田孝高（官兵衛）は、筑前国福岡藩祖です。福岡城の築城や町の区画整理など福岡にゆかりが深い軍師でもありました。その官兵衛が往来した街道に毎年巣を作る燕が飛来する喜びが読み手にわかります。戦国の世の官兵衛を偲ぶ郷土愛と現世の安泰に感謝です。

そぞろ寒喧嘩の後の冷めたパン

（東京都 墨田区）

三井千賀子

【選評】

「夫婦喧嘩は犬も食わない」と云われますが、「冷めたパン」と「そぞろ寒」に、喧嘩の後の味のわるさが表現されています。どうぞすぐに仲直りして下さい。

新海苔や四つ折八つ折香をたたむ

（東京都 品川区）

天野 眞弓

【選評】

はつもので長寿を願う有明海産一番摘み海苔「縁起のり」を頂いたことがあります。「味・香り・口どけ」がおいしさの決め手だそうです。はつものの海苔を喜ぶ作者の心優しい思いが「四つ折八つ折香をたたむ」によく表れています。



入 選（十五句）

阿蘇牛の動けば動く牧の霧

（大分県 大分市）

小田 祥子

縄糸はろりほどけて鰯雲

（神奈川県 横浜市）

横田 澄江

托鉢の僧のかかとや冬ざるる

（東京都 世田谷区）

野上 卓

阿蘇野来てその果て見えぬ草紅葉

（福岡県 北九州市）

長尾 キヌエ

入り船の金波に乗りて冬の風

（神奈川県 横浜市）

佐々木 澄子

語りそむあの日あるとき雛の客

（埼玉県 日高市）

日和田 ひわた

重陽の夕日背負ひて子等家路

（東京都 板橋区）

赤松 曙子

ぼうたんの崩れる前の吐息かな

（鹿児島県 鹿児島市）

内 ひとみ

朝採りの胡瓜を提げて基友来し

（福岡県 北九州市）

さとう 英基

小春日や埴輪泣くかに笑ふかに

（福岡県 福岡市）

山口 裕子

流れ星何処に向かふ貨車の列

（神奈川県 大磯町）

安部 衣世

囁は魔女かも知れぬ雪催

（岩手県 盛岡市）

深澤 範子

恋文のやうに句を詠み秋深し

（福岡県 太宰府市）

柴田 慧美子

割り切れぬ人生余り日記買ふ

（大分県 大分市）

山下 雄子

方言も入りてしみ入るおでん鍋

（福岡県 北九州市）

出来谷 通保

西村 和子 選

特 選（五句）

初苗松黒々と立ち上がる

（福岡県 みやこ町）

柳田 柑奈

【選評】

元日の明け方の空が茜色に染まった時、松の全容が黒々と見えたことを「立ち上がる」という動きをもつて描いた点に、迫力が生じました。その松の姿に、新年を迎えた作者の心が投影されています。端正な、美しい作品です。

船の揺ればかり気になる蓮見かな

（兵庫県 芦屋市）

田中 俊

【選評】

蓮見舟というものは、蓮池のわずかな水面を巡るので、小さな舟です。乗り込む時も揺れますし、ちよつと身じろぎするだけで揺れるので、転覆しないかと気になって仕方ない、その気持はわかります。蓮の花を見て楽しむところではないですね。

太陽に従ふ暮し冬至粥

（長崎県 島原市）

八木 花栗

【選評】

日がのぼると起きて、太陽の光があるうちは働き、日が暮れるとその日の仕事は終わりにする。健康的な暮らしぶりが伝わってきます。今日は一年で最も日が短い冬至。息災を祈って冬至粥を食べるのも、自然の運行に逆らわない健全な生き方と言えましょう。

木漏れ日も掃き集めたる落葉搔

（山口県 下松市）

西村 玲子

【選評】

落葉と共に木漏れ日も散らばっていたのですが、地面の落葉を掻き集めてきれいにした頃には、木漏れ日も消えていたのです。時間の経過を描いた句ですが、表現に工夫があります。こうした遊び心も句を作る上には大切なことです。

途中下車して夕焼の日本海

（山口県 下関市）

金澤 萬里

【選評】

「若い頃には満員電車の中からも夕焼を見ようとした」という言葉が好きです。日常の生活の中で、詩ごころを育てるとは、こういうことだと思えます。作者はわざわざ途中下車して、日本海の夕焼を見て、この作品を得たのです。その心根に共感を覚えます。



入 選（十五句）

海見ゆる窓は塞がぬ冬構

（山口県 下松市）

佃 俊之

腕まくり煽ぐ酢飯や雛祭

（東京都 中野区）

月 城 花 風

薄ら日をのせ薄氷の煌めけり

（東京都 目黒区）

佐 藤 二 葉

鉄瓶のどこも曲線水の秋

（岩手県 盛岡市）

工 藤 陽 子

蜻蛉の飛びたつ翅をあげにけり

（兵庫県 神戸市）

前 田 星 子

捜しものまたさがしもの冬に入る

（福岡県 北九州市）

元 田 品 子

水音のほろほろと落の臺

（千葉県 松戸市）

祐 森 司

水に落ちなほしづかなり玉椿

（愛媛県 松山市）

松 井 洋 子

雁渡る海の青さを力とし

（神奈川県 川崎市）

川 島 由美子

行きは蹴り帰りは拾ふ木の実かな

（福岡県 太宰府市）

川 路 泰 子

関門の潮流速き虚子忌かな

（千葉県 松戸市）

宮 都 讓

一樹づつ見上げつつゆく小春かな

（神奈川県 横浜市）

夏 野 猫 宙

石橋の放水高し天高し

（熊本県 菊陽町）

田 島 三 間

水仙や風の岬に風の句碑

（京都府 城陽市）

近 藤 好 廣

大家族たりし日のこと茎の石

（福岡県 北九州市）

永 田 英 子

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

入賞作品(当日投句)

■ 全国俳句大会 in 北九州大賞

玄海の風にあらがひ雁帰る

(長崎県 佐世保市)

牛飼 瑞栄

今井 肖子 先生 入選

小川 晴子 先生 入選

西村 和子 先生 入選

■ 北九州市長賞

春潮や門司に至りて色変はる

(東京都 渋谷区)

福原 康之

今井 肖子 先生 入選

西村 和子 先生 入選

今井 肖子 選

■特選（二句）

海峡の跳ね橋路地の草青む

（福岡県 北九州市）

久保 米子

【選評】

跳ね橋というと海に目が行きがちですが、石畳の下萌に目をとめられた、確かに草青むでしたね。良く見ていらっしやるなと思いました。

源平の海を埒のしほまねき

（福岡県 北九州市）

権代 政樹

【選評】

吟行では壇ノ浦や源平合戦の壁画などを見ましたが、そこから「しほまねき」まで発想をとばされたのが大変個性的で渋いなという感じがしました。

■入選（八句）

玄海の風にあらがひ雁帰る

（長崎県 佐世保市）

牛飼 瑞栄

大広間雛三千に明け渡す

（福岡県 築上町）

中嶋 重利

海風のまだ春風となりきれず

（福岡県 北九州市）

元田 品子

ひなまつり少年兵に薄き髭

（東京都 大田区）

青木 栄子

春潮や門司に至りて色変はる

（東京都 渋谷区）

福原 康之

海峡に開く跳ね橋春遅々と

（宮崎県 延岡市）

森山 淳子

積木めくコンテナのせて春の海

（東京都 目黒区）

佐藤 二葉

軍馬帰らず春昼の水飲場

（大阪府 池田市）

鈴木 みのり

小川 晴子 選

■特選（二句）

壇ノ浦の波を蹴立てて竜天に

（東京都 世田谷区）

菊田 和音

【選評】

春が来て竜が天に上る時期ですが、吟行の日はとても寒くて、中七の「波を蹴立てて」にとっても勢いを感じました。

始まりの初めの一步駅の春

（東京都 目黒区）

佐藤 二葉

【選評】

始発駅に立ち、「始まりの初めの一步」とおしゃれに詠んだ句。春の訪れを前に何かウキウキするような希望に満ちた感じがしました。

■入選（八句）

はね橋は恋の聖域シクラメン

（大阪府 池田市）

鈴木 みのり

白魚をぐっと飲み干す宵の宴

（鹿児島県 鹿児島市）

内 ひとみ

よせくる波吹きゆく風あゝミモザ

（福岡県 北九州市）

上野 今子

師の句碑の白詰草に膝折りて

（神奈川県 横浜市）

横田 澄江

清張の蔵書より魚氷に上る

（神奈川県 大磯町）

安部 衣世

玄海の風にあらがひ雁帰る

（長崎県 佐世保市）

牛飼 瑞栄

延着の汀女の句碑や山笑ふ

（熊本県 熊本市）

児玉 胡餅

凍返る浮棧橋へ汽笛伸び

（神奈川県 横浜市）

月野木 若菜

西村 和子 選

■特選（二句）

跳ね橋の揚り触れたる春の雲

（福岡県 直方市）

西尾 昭二

【選評】

昨日は体の芯まで冷え切るほどの寒さでしたが、揚がつていくはね橋の先の雲は紛れもない春の雲でした。視点の動きとともに情景が伝わってきます。

料峭の関門海峡浅葱色

（東京都 豊島区）

松枝真理子

【選評】

東京に居ては「料峭」という季語は使いづらい。壇ノ浦と呼ばれ、源平合戦の歴史ある関門海峡だからこそ、この季語が生かされた。浅葱色という美しい言葉が近づいた春の季節感も表しています。

■入選（八句）

或時は兵馬発たせし春の駅

（福岡県 直方市）

西尾 昭二

海峡を見下ろす丘の藪椿

（奈良県 奈良市）

上 田 秋 霜

海峡は日に日に青し龍天に

（福岡県 福岡市）

高 山 國 光

遠目には静か関門海峡春

（東京都 豊島区）

松 枝 真 理 子

船滑りゆく春潮を敷き延べて

（東京都 豊島区）

高 橋 桃 衣

玄海の風にあらがひ雁帰る

（長崎県 佐世保市）

牛 飼 瑞 栄

貨物船重たし春の壇ノ浦

（福岡県 福岡市）

鈴 木 ミ レ イ

春潮や門司に至りて色変はる

（東京都 渋谷区）

福 原 康 之

3月2日(土) 10:00～15:00

吟行「大正浪漫と潮風の薫る門司港レトロ～めかり公園散策」



3月2日(土) 15:00~17:00、3月3日(日) 8:30~10:00

当日投句受付



3月3日(日) 9:30~12:00

見学会



3月3日(日) 13:00～16:00

俳句大会

開会にあたり、実行委員会の近藤会長からご来場の皆様に歓迎の挨拶がありました。

大会では、相田みつを美術館の相田館長による講演会の他、「事前投句の部」「当日投句の部」それぞれの表彰式と選者選評が行われました。



会長挨拶



実行委員会会長
近藤 晃

講演

■講 師 相田 一人 氏 (相田みつを美術館館長)

■演 題 「言葉・コトバ・ことばはチカラ ～父・相田みつをの書と言葉」



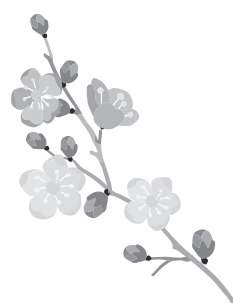
表彰式



「事前投句の部」大賞受賞
柳田 相奈さん



「事前投句の部」市長賞受賞
江守 宏二さん



「事前投句の部」特別賞受賞
「当日投句の部」大賞受賞
牛飼 瑞栄さん



「当日投句の部」市長賞受賞
福原 康之さん

大会選者



今井 肖子 先生



小川 晴子 先生



西村 和子 先生

協賛企業・団体



〒802-0041 北九州市小倉北区妙見町17-2
TEL 093(921)2292 FAX 093(921)2259
<http://www.myouken.or.jp>
e-mail: info@myoken.or.jp



株式会社 オービット



学術会議運営、イベント企画・運営、各種機材レンタル、WEB

〒806-0067 北九州市八幡西区引野1-5-31-101
tel.093-616-1417 fax.093-616-1418

貸切バス バス広告

市民の幸せを運ぶバス!! 市営バス



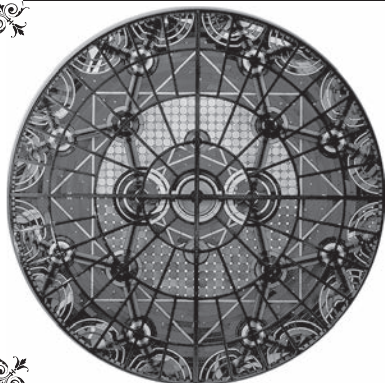
(一社)全旅協正会員 福岡県知事登録 2-126

北九州市交通局

〒808-0017 北九州市若松区東小石町3-1

TEL093-771-0205

FAX093-771-0225



北九州市立文学館

北九州ゆかりの文学者や分野別の文学の流れ、現在活躍する作家など、約250点の資料を展示。

- 開館時間 / 午前9時30分～午後6時（入館は5時30分まで）
- 休館 / 月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館）
- 料金 / 一般240円、中高生120円、小学生60円

北九州市小倉北区城内4-1 TEL093-571-1505

● event total produce ■

 **KENBI** CO.,LTD.

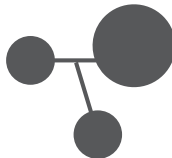
北九州市戸畑区沖台 1 丁目 3-8 TEL093-882-9404
www.kenb.co.jp

タクシーのご用命は

 **小倉交通グループ**

総合配車センター

093(541)0007 ●小倉交通株式会社
代表 **093(541)0286** ●平和タクシー株式会社
FAX **093(541)1748** ●コスモポリタンタクシー株式会社

 **TAIYO
SOUBI**

イベントのあれこれ解決します。

イベント企画・会場設営・看板製作
大洋装備株式会社

[本社] 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町72-3
TEL 093-571-2739・FAX 093-571-2747
URL : <http://www.taiyosoubi.com>

和やかに健やかに

 **希のぞみ**
放課後等デイサービス

放課後等デイサービス利用者さんを募集中です。
お問い合わせの上、是非見学にお越しください。

〒800-0257 福岡県北九州市小倉南区湯川1丁目8番9号

TEL093-967-9927

<https://nozomi.care/>

**保育士
児童指導員
支援スタッフ募集中**
新卒、第二新卒、未経験者も大歓迎!
お気軽にお問い合わせください。

放課後のぞみ

 検索





<http://www.e-yoshimi.jp>



印刷のことならヨシミ工産にお任せ下さい!

企画、制作から印刷までを手がける経験豊富な実績でお客様に満足をご提供いたします!

ヨシミ工産株式会社 〒804-0094 福岡県北九州市戸畑区天神1丁目13番5号
☎(093)882-1661 FAX(093)881-8467

■東京営業所 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目26番1号 本郷宮田ビル3階
■福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目23番28号

☎(03)5802-5601 FAX(03)5802-5603
☎(092)481-9559 FAX(092)481-9966

街のランドマーク リーガロイヤルホテル小倉

開業以来初的大幅リニューアル

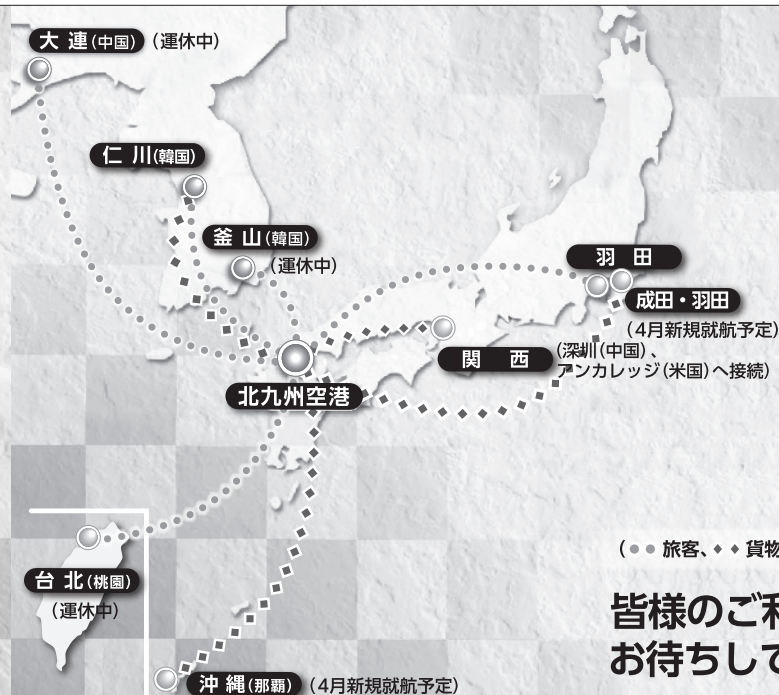
豊かな経験とおもてなしの心を大切に非日常のひとときを演出します。



〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目14-2 ☎093-531-1121 (代表)



早朝から深夜まで、
利便性の高い海上空港



(●● 旅客、◆◆ 貨物)

皆様のご利用を
お待ちしております!!



北九州空港
KITAKYUSHU AIRPORT

北九州エアターミナル株式会社

〒800-0306 北九州市小倉南区空港北町6番
TEL 093-475-4195 FAX 093-475-1304 <https://www.kitakyu-air.jp>

(公財)北九州観光コンベンション協会

会議・大会・展示会等のイベントを幅広くサポート

「国際コンベンションゾーン」として位置付けられている小倉駅新幹線口地区には、各種コンベンション施設が集積しています。その中でも、西日本総合展示場・北九州国際会議場は、JR小倉駅と直結した絶好のロケーションにあります。当協会では会議、大会、見本市、展示会、イベントなどコンベンション全般の企画から運営までをサポートします。



展示場・会議室のご案内

10～585名までの会議にご利用いただけます。
200㎡～15,000㎡までの展示会にご利用いただけます。
展示場・会議室のご用命はサービス課へ。

●お問い合わせ・ご予約……………
(公財)北九州観光コンベンション協会
サービス課

TEL:093-541-5931
FAX 093-541-5928



北九州国際会議場/メインホール



西日本総合展示場 新館/展示場



AIM 3F/展示場



AIM 3F/会議室

観光・修学旅行、さらにはお土産までサポート

日本新三大夜景都市 北九州市



～観光情報サイト～ <https://www.gururich-kitaq.com>

旅は、ここから始まる City of Kitakyushu



夜 景



世界遺産



産業観光



お土産



オンライン
ショップ

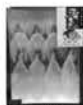
北九州ならではの逸品がめじる押し!

●北九州観光市場

<https://www.kcta.jp>



焼きカレー



ふく一夜干し



●お問い合わせ先 (公財)北九州観光コンベンション協会

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 FAX:093-521-8845
<https://www.hello-kitakyushu.or.jp>

tel 093-511-6848 (代表)

